

イーストスプリング・
グローイング・アジア
株式オープン

追加型投信／海外／株式

作成対象期間 2024年12月21日～2025年 6 月20日

第36期 2025年 6 月20日決算

日経新聞掲載名：グロアジア	
第36期末 (2025年 6 月20日)	
基準価額	11,536円
純資産総額	2,826百万円
第36期	
騰落率	△ 6.8%
分配金(税込み)合計	0円

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

受益者のみなさまへ

平素は格別のお引立てにあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、主として日本を除くアジア地域において相対的に高い経済成長が見込まれる国の株式を主要投資対象とする投資信託証券に投資を行い、信託財産の成長を目指して運用を行います。当作成対象期間につきましてもこれに沿った運用を行ってまいりました。ここに、その運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜われますよう、お願い申し上げます。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

〒100-6905

東京都千代田区丸の内2-6-1丸の内パークビルディング

<https://www.eastspring.co.jp/>

【お問い合わせ先】

電話番号：03-5224-3400

(受付時間は営業日の午前9時から午後5時まで)

当ファンドは、信託約款において運用報告書(全体版)を電磁的方法によりご提供することを定めております。運用報告書(全体版)は、下記の手順で閲覧、ダウンロードすることができます。なお、書面をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>

ホームページにアクセス⇒「ファンド情報」を選択⇒ファンド名を選択⇒「目論見書・月報・運用報告書等」の「運用報告書(全体版)」を選択

運用経過

基準価額等の推移について

(2024年12月21日～2025年6月20日)



期 首：12,379円

期 末：11,536円 (既払分配金(税込み)：0円)

騰落率：△ 6.8% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 分配金再投資基準価額は、期首(2024年12月20日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 当ファンドにおいては、運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

基準価額の主な変動要因

当期の基準価額は下落しました。

(下落要因)

- ・ 対円でアジア通貨が下落したこと。

1 万口当たりの費用明細

(2024年12月21日～2025年6月20日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
	円	%	
(a) 信 託 報 酬	75	0.647	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(29)	(0.247)	委託した資金の運用の対価
(販 売 会 社)	(44)	(0.384)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(2)	(0.016)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	6	0.055	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(2)	(0.015)	海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(3)	(0.023)	監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(印 刷)	(2)	(0.017)	目論見書および運用報告書等の法定開示書類の作成費用等
合 計	81	0.702	
期中の平均基準価額は、11,559円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

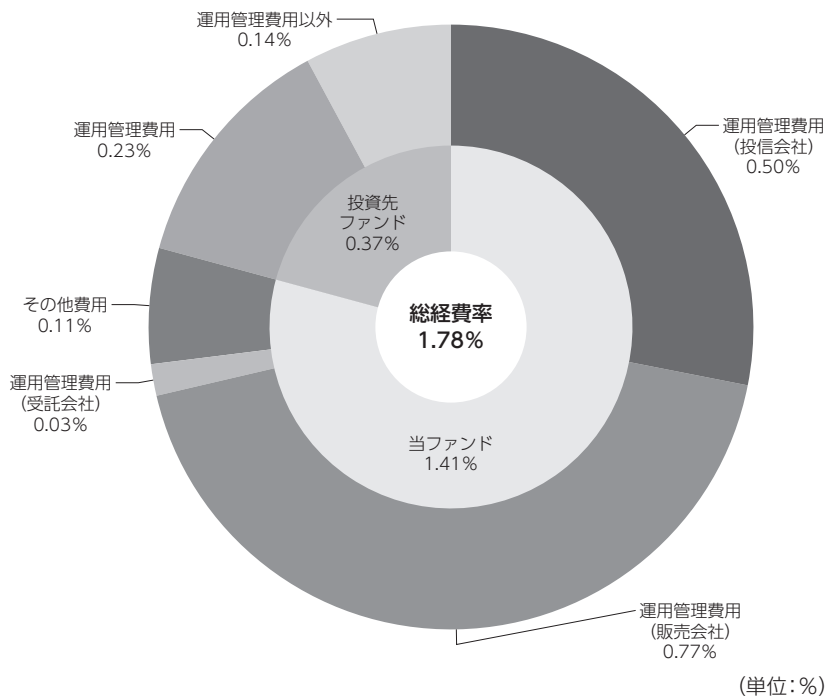
(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.78%です。



総経費率(①+②+③)	1.78
①当ファンドの費用の比率	1.41
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.23
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.14

(注) ①の費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券です。

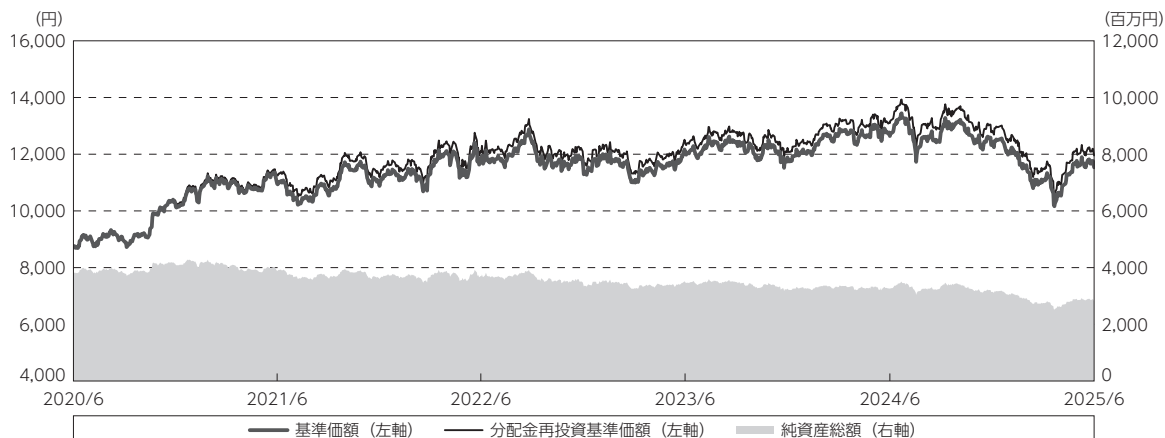
(注) ①の費用は、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移について

(2020年6月22日～2025年6月20日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
 (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
 (注) 分配金再投資基準価額は、2020年6月22日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2020年6月22日 決算日	2021年6月21日 決算日	2022年6月20日 決算日	2023年6月20日 決算日	2024年6月20日 決算日	2025年6月20日 決算日
基準価額 (円)	8,761	10,959	11,779	12,111	12,640	11,536
期間分配金合計(税込み) (円)	—	300	0	0	100	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	28.6	7.5	2.8	5.2	△ 8.7
純資産総額 (百万円)	3,834	3,875	3,704	3,498	3,242	2,826

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
 (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
 (注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。
 (注) 当ファンドにおいては、運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

投資環境について

アジア株式市場

当期のアジア株式市場はトランプ関税の影響から期中半ばにかけて大幅に下落しましたが、その後後半にかけて反発しました。期初から2025年2月後半にかけて、米トランプ政権による関税政策への懸念などからアジア株式市場は総じて軟調な展開となりました。そして4月初めに米国による相互関税の導入が発表されると、ベトナムなどへ高関税が課されることへの懸念が高まり、アジア株式市場は一時急落しました。しかし、その後トランプ政権が関税の適用について90日間の休止期間を発表し、貿易交渉が始まったことなどを好感し、アジア株式市場は大幅に反発し、その後アジア各国が米ドル安による自国通貨の安定を受けて利下げを実施したことから、株式市場はおおむね堅調に推移しました。

為替市場

日銀が2025年1月に利上げを実施した以降は、日銀、米連邦準備制度理事会（FRB）の双方の金融政策がトランプ関税の影響を見極める方針の下、現状維持となる中、米国の財政悪化への懸念などを受けて投資家のドル資産離れの影響などから円高ドル安が続きました。アジア通貨は、内需主導型の経済であるフィリピン以外はトランプ関税の悪影響を懸念され期中を通じて対米ドルで総じて軟調な展開となりました。期中を通じアジア通貨は対円で下落しました。

ポートフォリオについて

当ファンド

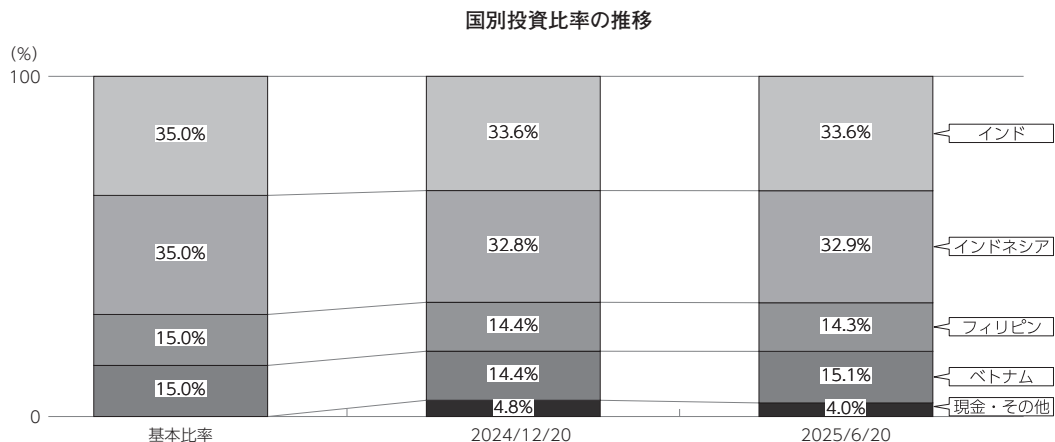
主として日本を除くアジア地域において相対的に高い経済成長が見込まれる国の株式を主要投資対象とするルクセンブルグ籍外国投資法人「イーストスプリング・インベストメンツ」のサブファンド（米ドル建て）（以下「投資先ファンド」ということがあります。）の投資信託証券に投資を行いました。

当期は、国別の組入比率については基本配分比率を概ね維持した運用を行いました。

投資先ファンド

高い経済成長が続くアジア地域で、今後も特に高い成長が期待できると考えられる国々（インド、インドネシア、フィリピン、ベトナム）の株式に投資を行いました。

個人消費の低迷を受けて小売関連銘柄が下落したインドネシアやトランプ関税への懸念などから輸出関連銘柄が下落したベトナムなどの保有がマイナス要因となりました。



（注）国別投資比率は、各投資先ファンドの比率を用いています。比率は、純資産総額を100%として計算しています。

ベンチマークとの差異について

当ファンドにおいては、運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

分配金額は、基準価額水準・市況動向等を勘案して、以下の通りとさせていただきます。なお、留保益の運用につきましては、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

○分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり、税込み)

項 目	第36期
	2024年12月21日～ 2025年6月20日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	3,313

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

(注) —印は該当がないことを示しています。

今後の運用方針について

当ファンド

主として日本を除くアジア地域において相対的に高い経済成長が見込まれる国の株式を主要投資対象とする投資信託証券に投資を行い、信託財産の成長を目指して運用を行います。

投資先ファンド

アジアでは、米中間の関税率が一時的に引き下げられ、過度な懸念が和らいでいますが、引続き先行きの見通しが立てづらい環境にあると考えています。しかし、アジア地域内でインドやフィリピンについては、経済全体で内需の占めるウェイトが相対的に高いことから、米国による相互関税の影響は限定的と考えられます。また、中国の動向については、引続き当ファンドの投資対象国である他のアジア諸国への影響等を見極めていくことが必要であると考えています。

当該ファンドでは、引続き長期的な視野をもってファンダメンタルズとバリュエーションを大局的に見極めるという姿勢を重視してまいります。また、個別銘柄の選択については、引続きバリュエーションを重視したボトムアップアプローチの投資方針を維持し、長期的に持続可能な収益性と比較して、割安と判断できる企業を選別して投資を継続していく所存です。

お知らせ

2023年11月の「投資信託及び投資法人に関する法律（以下「投信法」といいます。）」の一部改正に伴い、2025年4月1日付で「運用報告書に記載すべき事項の提供」に係る条文を「運用状況に係る情報の提供」に変更するため信託約款に所要の変更を行いました。

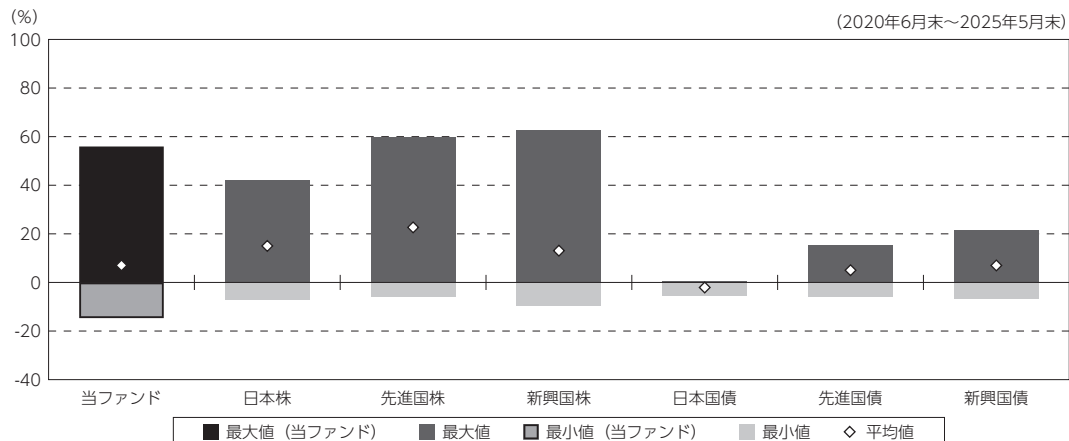
2023年11月の「投信法」の一部改正により、交付運用報告書については書面交付を原則としていた規定が変更されました。本件により、デジタル化の推進を通じて顧客の利便性向上を図るとともに、ペーパーレス化による地球環境の保全など、サステナビリティへの貢献に繋がるものと捉えております。今後も顧客本位の業務運営を確保しつつ、電磁的方法での情報提供を進めてまいります。

当ファンドの概要

商 品 分 類	追加型投信／海外／株式
信 託 期 間	無期限（2007年6月29日設定）
運 用 方 針	投資信託証券への投資を通じて、主として日本を除くアジア地域において相対的に高い経済成長が見込まれる国の株式に投資を行い、信託財産の成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	主としてルクセンブルグ籍外国投資法人「イーストスプリング・インベストメンツ」のサブファンド（米ドル建て）への投資を通じて、主要投資対象国の株式に投資を行います。 イーストスプリング・インベストメンツ - インディア・エクイティ・ファンド クラス J イーストスプリング・インベストメンツ - インドネシア・エクイティ・ファンド クラス J イーストスプリング・インベストメンツ - フィリピン・エクイティ・ファンド クラス J イーストスプリング・インベストメンツ - ベトナム・エクイティ・ファンド クラス J 投資信託証券は、今後変更される場合があります。
運 用 方 法	以下の投資制限のもと運用を行います。 ・投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 ・外貨建資産への投資割合には制限を設けません。 ・株式への直接投資は行いません。
分 配 方 針	毎決算時（毎年6月20日および12月20日。休業日の場合は翌営業日。）に、基準価額水準・市況動向等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は、収益分配を行わないこともあります。

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位: %)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国国債	新興国国債
最大値	55.9	42.1	59.8	62.7	0.6	15.3	21.5
最小値	△ 14.7	△ 7.1	△ 5.8	△ 9.7	△ 5.5	△ 6.1	△ 7.0
平均値	7.0	15.0	22.7	13.1	△ 2.1	5.0	7.0

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2020年6月から2025年5月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日本株：配当込みTOPIX

先進国株：MSCI－KOKUSAIインデックス（配当込み、円ベース）

新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債：NOMURA－BPI国債

先進国債：FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド(円ベース)

※各指数についての説明は、後述の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

ファンドデータ

当ファンドの組入資産の内容

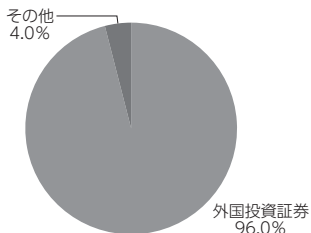
○組入上位ファンド

銘 柄 名	第36期末
	%
イーストスプリング・インベストメンツ・インドシア・エクイティ・ファンド クラス J	33.6
イーストスプリング・インベストメンツ・インドネシア・エクイティ・ファンド クラス J	32.9
イーストスプリング・インベストメンツ・ベトナム・エクイティ・ファンド クラス J	15.1
イーストスプリング・インベストメンツ・フィリピン・エクイティ・ファンド クラス J	14.3
組入銘柄数	4銘柄

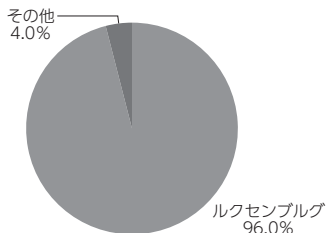
(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

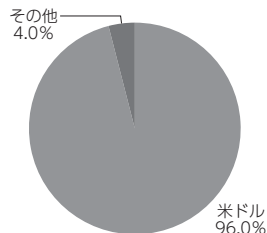
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国（地域）もしくは投資国（地域）を表示しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

純資産等

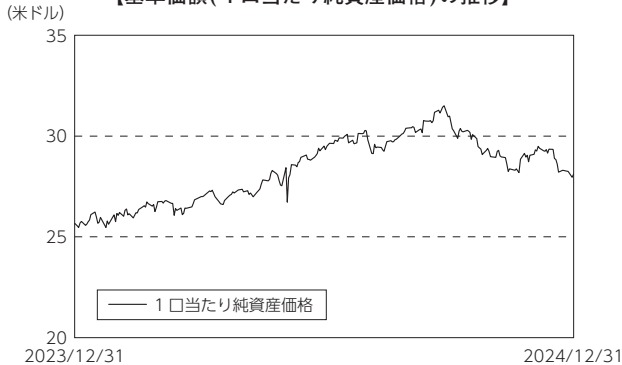
項 目	第36期末
	2025年6月20日
純 資 産 総 額	2,826,162,113円
受 益 権 総 口 数	2,449,969,307口
1万口当たり基準価額	11,536円

(注) 当期中における追加設定元本額は30,827,790円、同解約元本額は122,725,458円です。

組入上位ファンドの概要

イーストスプリング・インベストメンツ - インディア・エクイティ・ファンド クラスJ

【基準価額(1口当たり純資産価格)の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2024年1月1日～2024年12月31日)

当該期間のAnnual Report(監査済み)には、1万口当たりの費用明細が開示されていないため、記載できません。

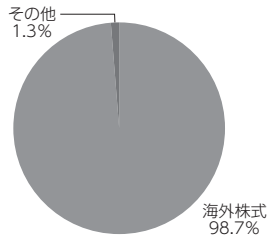
以下は、イーストスプリング・インベストメンツ - インディア・エクイティ・ファンドの内容です。

【組入上位10銘柄】

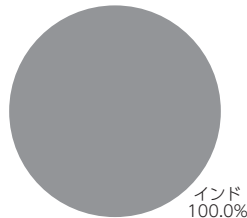
(2024年12月31日現在)

	銘柄名	業種	国・地域	比率
1	ICICI銀行	銀行	インド	7.4%
2	リライアンス・インダストリーズ	エネルギー	インド	6.4%
3	インフォシス	ソフトウェア・サービス	インド	4.8%
4	パルティ・エアテル	電気通信サービス	インド	4.3%
5	アクシス銀行	銀行	インド	4.1%
6	HDFC銀行	銀行	インド	3.9%
7	サン・ファーマシューティカル・インダストリーズ	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	インド	3.8%
8	マルチ・スズキ・インディア	自動車・自動車部品	インド	2.8%
9	ヒンドゥスタン・ユニリーバ	家庭用品・パーソナル用品	インド	2.5%
10	ウルトラ・テック・セメント	素材	インド	2.5%
組入銘柄数			71銘柄	

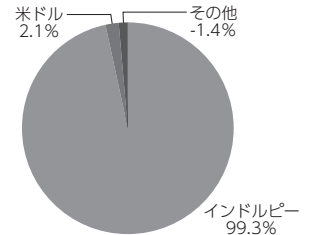
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 組入ファンドのデータは、当社で入手可能な時点のもの(監査済みおよび同時点の関連データを含む)を使用しています。

(注) 組入上位10銘柄、資産別・通貨別配分の比率は組入ファンドの純資産に対する割合、国別配分の比率は組入銘柄の総額に対する割合です。

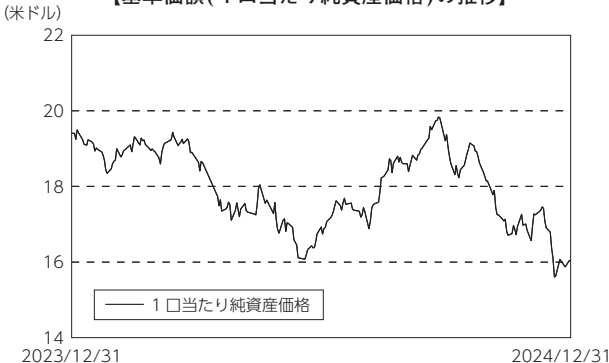
(注) 資産別配分において、未払金等の発生により「その他」の数値がマイナスになることがあります。

(注) 通貨別配分において、基準日をまったく為替取引等の計上により「その他」の数値がマイナスになることがあります。

* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)でご覧いただけます。

イーストスプリング・インベストメンツ - インドネシア・エクイティ・ファンド クラスJ

【基準価額(1口当たり純資産価格)の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2024年1月1日～2024年12月31日)
当該期間のAnnual Report (監査済み) には、1万口当たりの費用明細が開示されていないため、記載できません。

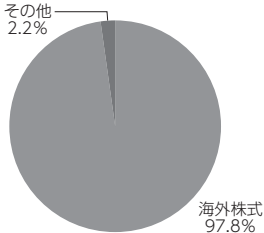
以下は、イーストスプリング・インベストメンツ - インドネシア・エクイティ・ファンドの内容です。

【組入上位10銘柄】

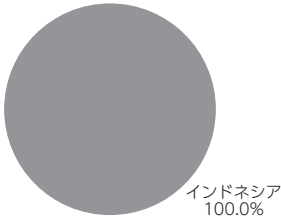
(2024年12月31日現在)

	銘柄名	業種	国・地域	比率
1	バンク・ラヤット・インドネシア	銀行	インドネシア	9.7%
2	バンク・セントラル・アジア	銀行	インドネシア	9.7%
3	バンク・マンディリ	銀行	インドネシア	9.3%
4	テルコム・インドネシア	電気通信サービス	インドネシア	8.6%
5	インドフードCBPサクセス・マクムール	食品・飲料・タバコ	インドネシア	4.8%
6	チャルーン・ボーカパン・インドネシア	食品・飲料・タバコ	インドネシア	4.7%
7	ゴートウ・ゴジェック・トコペディア	一般消費財・サービス流通・小売り	インドネシア	4.6%
8	スンプル・アルファリヤ・トリジャヤ	生活必需品流通・小売り	インドネシア	4.5%
9	バンクネガラインドネシア	銀行	インドネシア	4.5%
10	カルベ・ファルマ	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	インドネシア	4.3%
組入銘柄数		22銘柄		

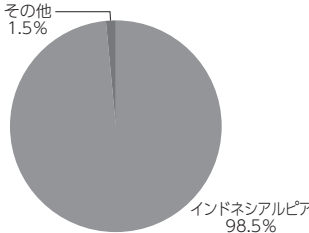
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】

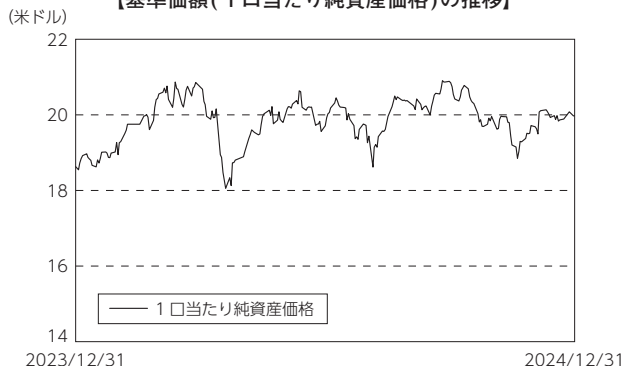


(注) 組入ファンドのデータは、当社で入手可能な時点のもの（監査済みおよび同時点の関連データを含む）を使用しています。
(注) 組入上位10銘柄、資産別・通貨別配分の比率は組入ファンドの純資産に対する割合、国別配分の比率は組入銘柄の総額に対する割合です。

* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）でご覧いただけます。

イーストスプリング・インベストメンツ - ベトナム・エクイティ・ファンド クラスJ

【基準価額(1口当たり純資産価格)の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2024年1月1日～2024年12月31日)

当該期間のAnnual Report (監査済み) には、1万口当たりの費用明細が開示されていないため、記載できません。

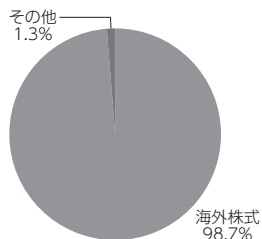
以下は、イーストスプリング・インベストメンツ - ベトナム・エクイティ・ファンドの内容です。

【組入上位10銘柄】

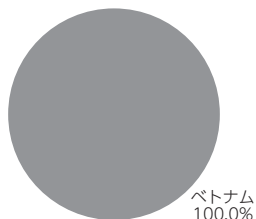
(2024年12月31日現在)

	銘柄名	業種	国・地域	比率
1	FPT	ソフトウェア・サービス	ベトナム	9.6%
2	ホアファットグループ	素材	ベトナム	9.2%
3	ベトナム産業貿易商業銀行	銀行	ベトナム	7.0%
4	ベトナム外商銀行	銀行	ベトナム	6.0%
5	アジア・コマーシャル銀行	銀行	ベトナム	5.0%
6	SSIセキュリティーズ	金融サービス	ベトナム	4.7%
7	カンディエン不動産	不動産管理・開発	ベトナム	3.8%
8	マッサングループ	食品・飲料・タバコ	ベトナム	3.4%
9	ジェマデプト	運輸	ベトナム	3.3%
10	ベトナム乳業(ビナミルク)	食品・飲料・タバコ	ベトナム	3.2%
組入銘柄数		38銘柄		

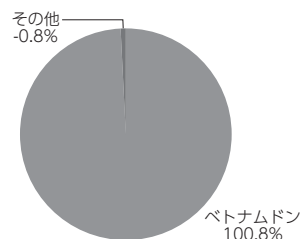
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 組入ファンドのデータは、当社で入手可能な時点のもの（監査済みおよび同時点の関連データを含む）を使用しています。

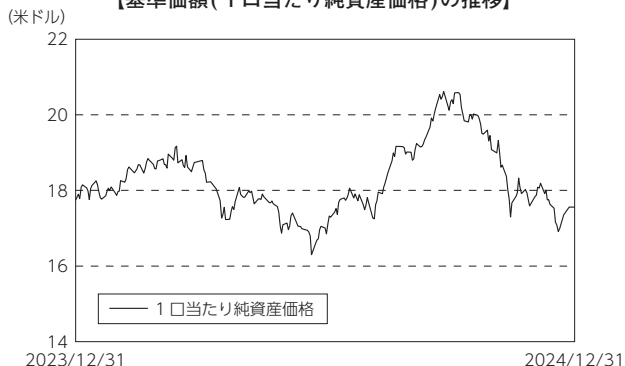
(注) 組入上位10銘柄、資産別・通貨別配分の比率は組入ファンドの純資産に対する割合、国別配分の比率は組入銘柄の総額に対する割合です。

(注) 通貨別配分において、基準日をまたぐ為替取引等の計上により「その他」の数値がマイナスになることがあります。

* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）でご覧いただけます。

イーストスプリング・インベストメンツ - フィリピン・エクイティ・ファンド クラスJ

【基準価額(1口当たり純資産価格)の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2024年1月1日～2024年12月31日)

当該期間のAnnual Report (監査済み) には、1万口当たりの費用明細が開示されていないため、記載できません。

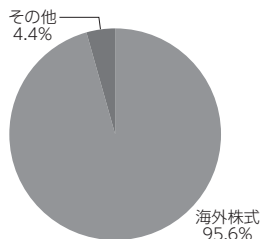
以下は、イーストスプリング・インベストメンツ - フィリピン・エクイティ・ファンドの内容です。

【組入上位10銘柄】

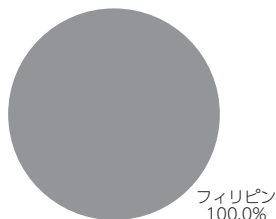
(2024年12月31日現在)

	銘柄名	業種	国・地域	比率
1	SMインベストメンツ	資本財	フィリピン	10.0%
2	バンコ・デ・オロ・ユニバンク	銀行	フィリピン	9.8%
3	フィリピン・アイランズ銀行	銀行	フィリピン	9.8%
4	インターナショナル・コンテナ・ターミナル・サービス	運輸	フィリピン	9.6%
5	グローブ・テレコム	電気通信サービス	フィリピン	5.1%
6	ジョリビー・フード	消費者サービス	フィリピン	4.9%
7	PLDT	電気通信サービス	フィリピン	4.9%
8	SMプライム	不動産管理・開発	フィリピン	4.8%
9	メトロポリタン銀行	銀行	フィリピン	4.8%
10	アヤラ	資本財	フィリピン	4.2%
組入銘柄数		25銘柄		

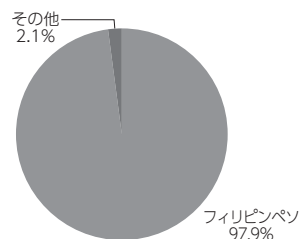
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 組入ファンドのデータは、当社で入手可能な時点のもの（監査済みおよび同時点の関連データを含む）を使用しています。

(注) 組入上位10銘柄、資産別・通貨別配分の比率は組入ファンドの純資産に対する割合、国別配分の比率は組入銘柄の総額に対する割合です。

* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）でご覧いただけます。

＜代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について＞

騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに株式会社野村総合研究所が計算しており、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

○配当込みTOPIX

配当込みTOPIXは、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、配当込みTOPIXの指数値及び同指数に係る標章又は商標は、株式会社J P X総研又は株式会社J P X総研の関連会社の知的財産です。

○MSCI-KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）

MSCI-KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc. に帰属します。

○MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc. に帰属します。

○NOMURA-BPI国債

NOMURA-BPI国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA-BPI国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。

○FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。

○JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド（円ベース）

JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド（円ベース）は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。